JRA-VAN 競馬ソフト作成体験教室

・開発環境を整備する

当コーナーでは、「JRA-VAN Data Lab.」サービス対応の競馬ソフトを作成していくための環境設定を解説していきます。

ここでは、「JV-Link」を Microsoft Excel 2016（以下 Excel2016 と省略）で使用できるよう に環境設定を行ないます。

【 今回の目標 】

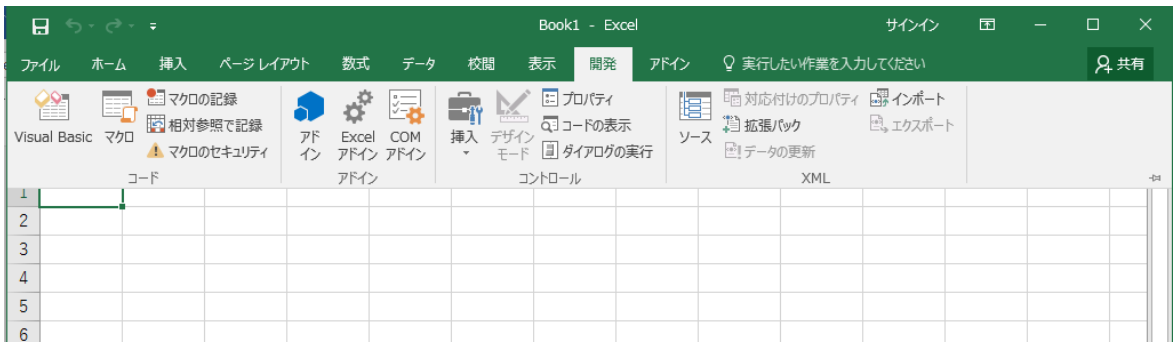
Excel 2016 Visual Basic で JV-Link を使用できるように設定する。

【 やってみよう 】

JV-Link をコントロールに追加しよう

① Excel2016 を起動する。

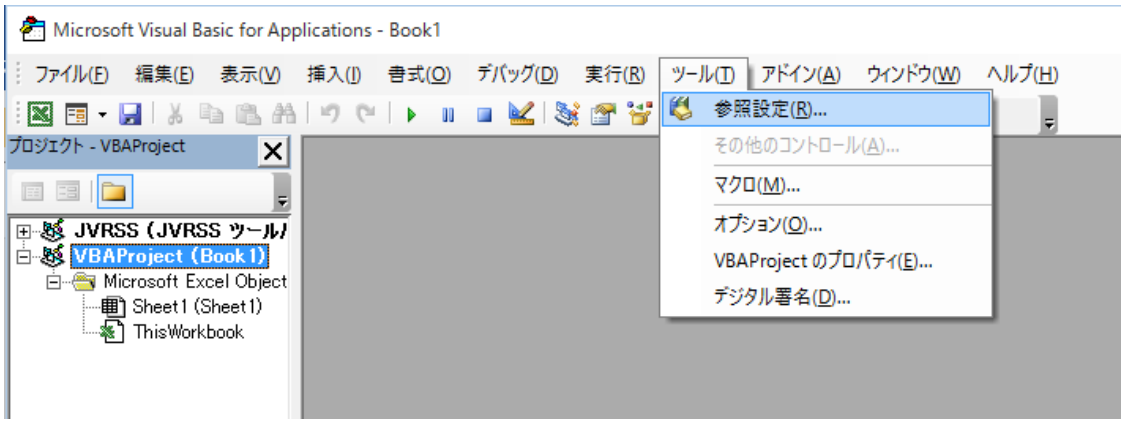
② メニューの「開発」→「Visual Basic」を選択し、Visual Basic Editor の画面を表示する。



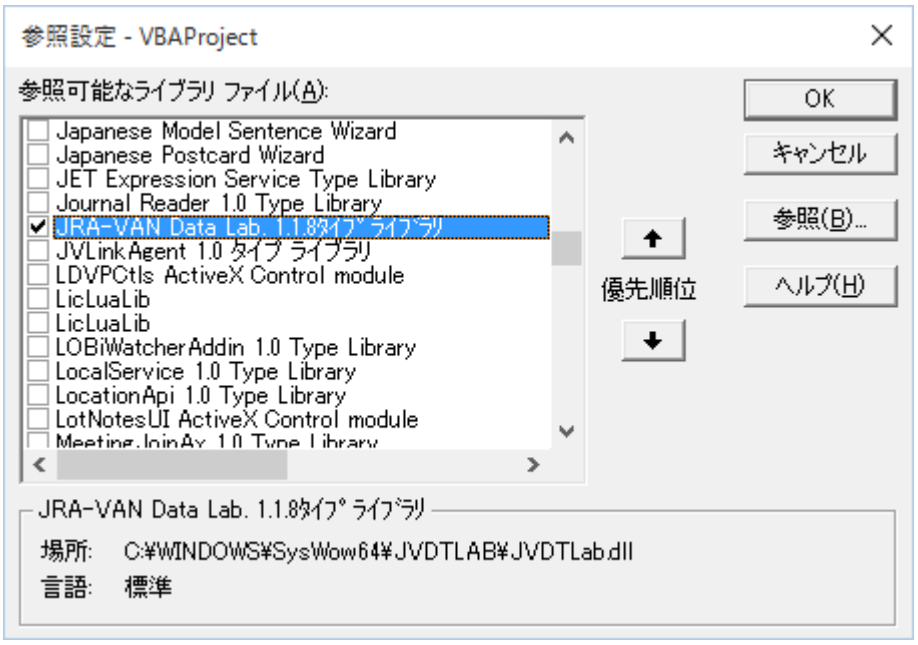
※リボンに「開発」が表示されていない場合は、「リボンのユーザー設定」で「開発」を追加してください。

ここではその手順について割愛させていただきます。

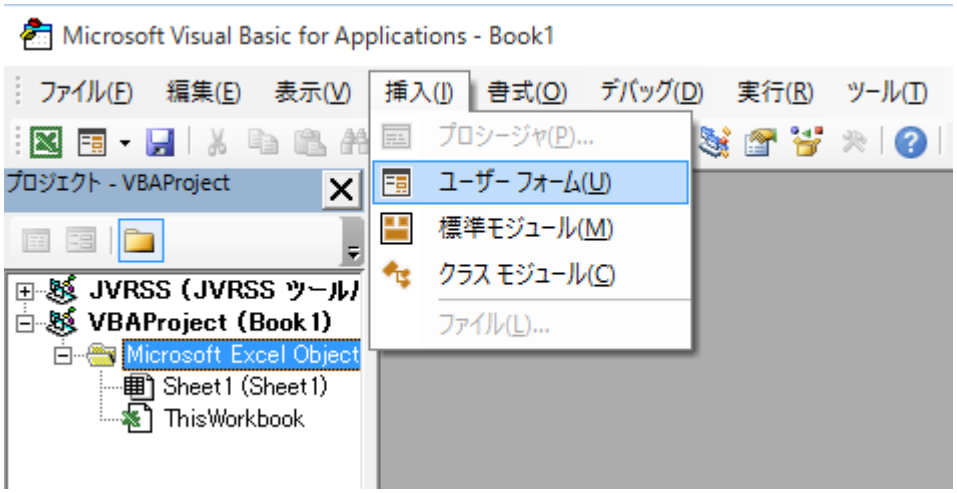
③　メニューの「ツール」→「参照設定」を選択し参照設定ダイアログを表示する。

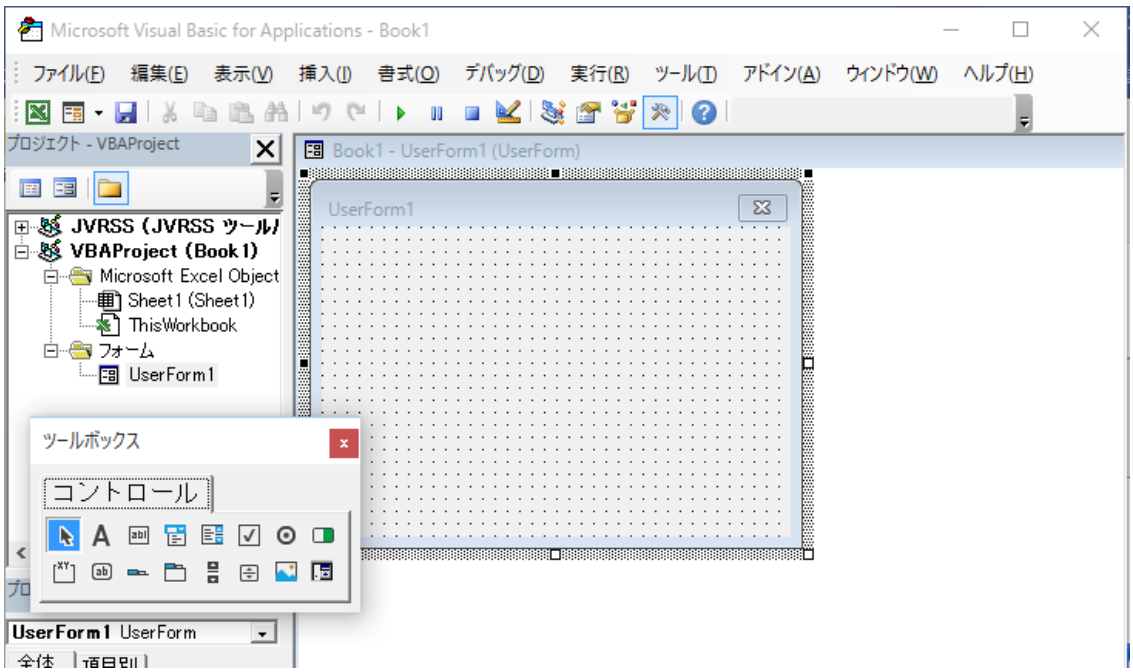


④　「JRA-VAN Data Lab. x.x.x ﾀｲﾌﾟﾗｲﾌﾞﾗﾘ」にチェックを入れて「OK」をクリックする。

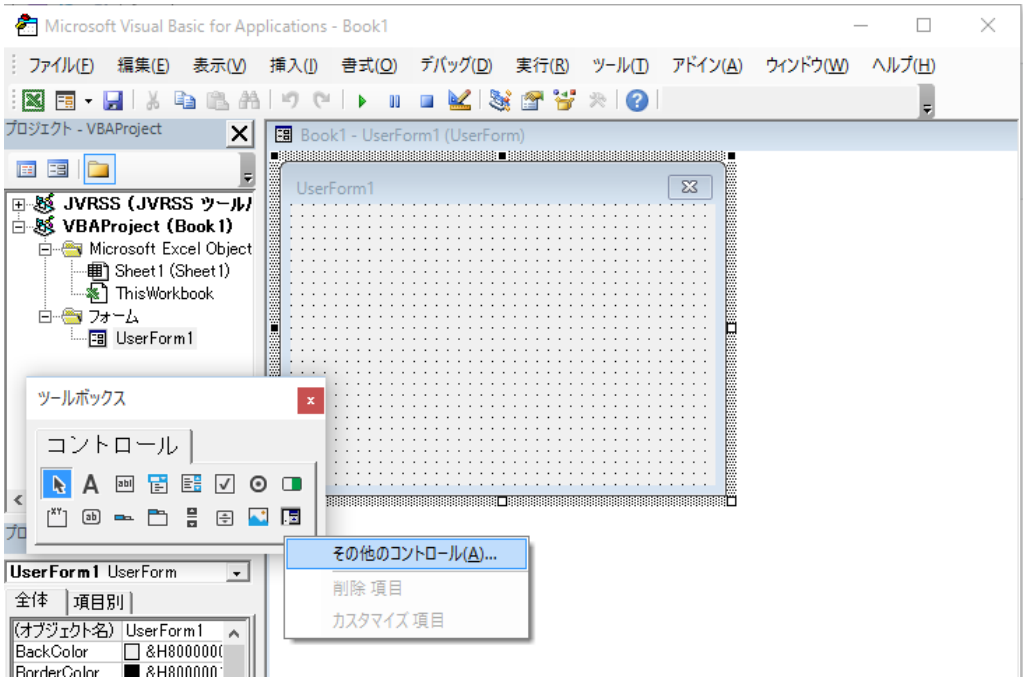


⑤　メニューの「挿入」→「ユーザーフォーム」を選択してユーザーフォームを表示する。

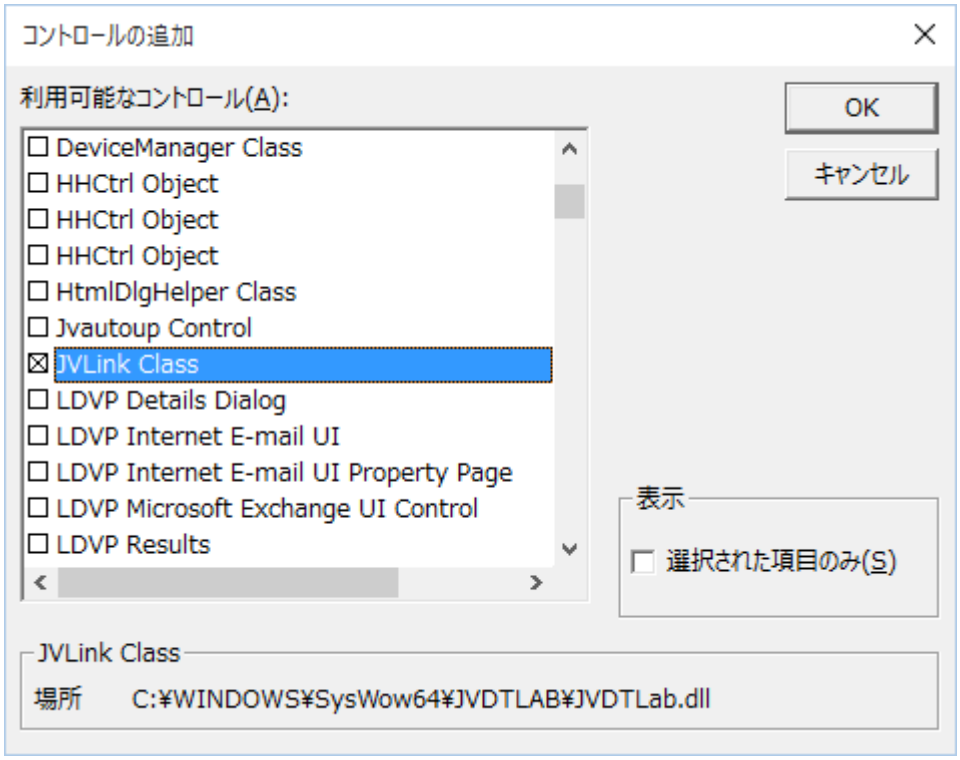




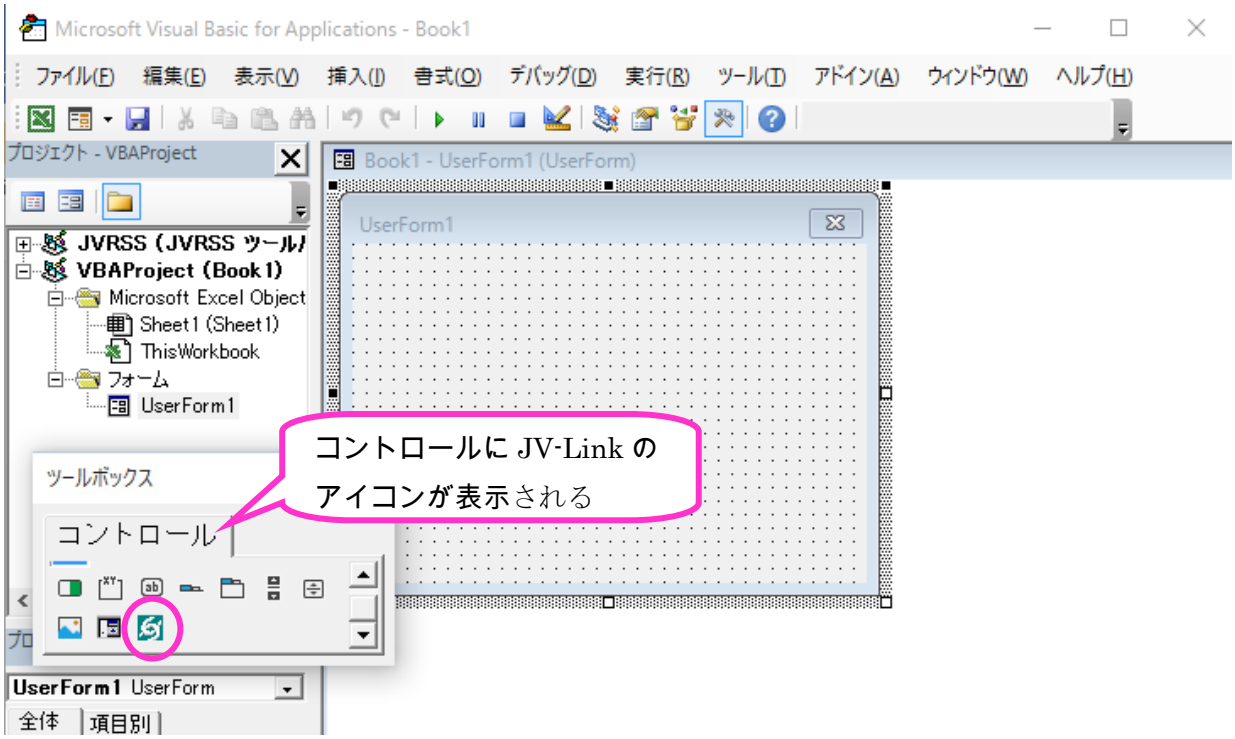
⑥　コントロールの何もない場所で右クリックしてメニューを表示し、「その他のコントロール」を選択する。



⑦　コントロールの追加ダイアログで、利用可能なコントロールの「JVLink Class」にチェックを入れて「OK」をクリックする。

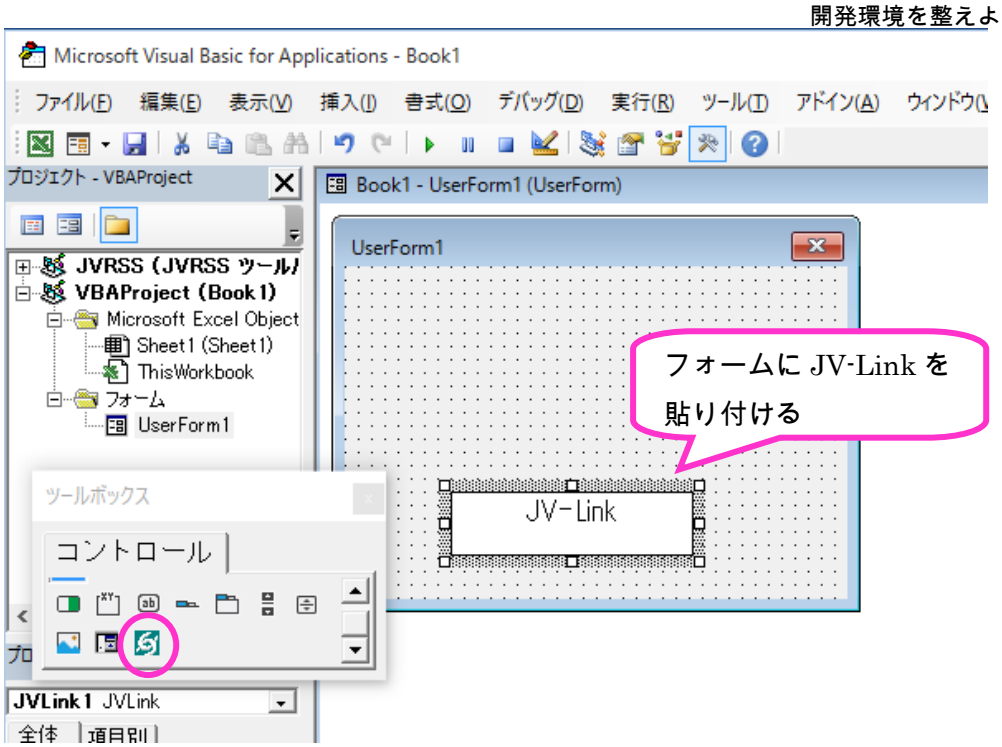


⑧　コントロールに JV-Link のアイコンが表示されたことを確認する。



【　確認しよう　】

フォームに JV-Link を貼り付けることができれば、今回の目標は達成です。


Microsoft Visual Basic for Applications - Book1
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 挿入(I) 書式(O) デバッグ(D) 実行(R) ツール(T) アドイン(A) ウィンドウ(
プロジェクト - VBAProject
JVRSS (JVRSS ツール)
VBAProject (Book1)
Microsoft Excel Object
Sheet1 (Sheet1)
ThisWorkbook
フォーム
UserForm1
Book1 - UserForm1 (UserForm)
UserForm1
JV-Link
フォームに JV-Link を
貼り付ける
ツールボックス
コントロール
JVLink1 JVLink
全体
項目別